

田浦月見台住宅の活用 ～民官連携で地域を元気に！～



×



1. 田浦月見台住宅の背景

田浦月見台住宅は、令和2年度に入居者が全て退去し、現在は入居者がいない状態となっています。市営住宅として廃止しており、当初は、廃止後の活用や売却の見込みがない状態でした。通常ならば建物を解体し、土地を維持管理するだけでしたが、谷戸地域再生、コミュニティ活性化を図るために、なんとか有効活用できないかと、検討してきました。

2. 田浦月見台活用事業のパートナーとして(株)エンジョイワークスが決定

田浦月見台住宅活用の可能性を検討するため、空き家活用を手掛ける不動産事業者や遊休地の利活用を得意とする事業者の方々にサウンディングを実施し、複数の民間事業者から意見を伺いました。その結果、活用の可能性があるとわかりましたので、民官連携事業として活用することとし、事業者公募により、令和5年12月に、株式会社エンジョイワークスと事業を検討していくことを決定し、本日、民官連携事業を推進するにあたり、協定を締結しました。

3. 田浦月見台住宅の今後の展望

田浦月見台住宅は、市営住宅として住居専用で使用されてきましたが、今回の活用では、空き家をそのまますべて住宅として再生させるのではなく、多様なライフスタイルへの対応できるよう、需要の高まりを見せている職住一体型の店舗兼用住宅へと改修します。一部をコミュニティ醸成のための集会所や広場等の共用部として計画しつつ、その他、多くは、住宅部分を活かしながら、店舗兼用住宅に改修します。株式会社エンジョイワークスと横須賀市が連携し、月見台住宅を活用することにより、エリア一帯の活性化につなげたいと考えています。

基本情報

名称： 田浦月見台住宅跡地

所在地： 田浦町1丁目54番地

敷地面積： 13,653m²

地目： 宅地

区域区分： 市街化区域

アクセス： JR田浦駅徒歩約10分

建築年度： 1960年(昭和35年)

間取り： 2K(約29m²～37m²)

建物構造： 木造平屋(15棟30戸)

ブロック造平屋(7棟28戸)

※活用にあたり一部解体

解体前(32棟74戸) → 解体後(22棟58戸)

用途地域： 第一種低層住居専用地域

備考： 2020年 市営住宅廃止



配置図

